



鳥取県生協は被爆・戦争体験と平和の想いを次世代に継承し、核兵器廃絶と世界平和に向けた取り組みを進めています

発行:2023.10.23~10.27(毎月第4週発行)  
鳥取県生協 組合員活動グループ  
TEL:0858-85-0019/FAX:0858-85-0013  
E-mail:nishimura.ko@tottori.coop  
ご意見・ご感想をお待ちしています。

# 子ども SOS 考えよう!子どもの人権①

日本の子どもの精神的幸福度	先進国 38 ヶ国中 37 位※
子どもの相対的貧困率 2021 年	11.5%、一人親世帯 44.5%
子どもの自殺率	10代の死因の1位は自殺
2022年に自殺した小中学生・高校生	512人(過去最多)
2022年度の子どもの児童虐待件数	21万9170件(過去最多)
2022年度の不登校の小中学生	29万9048人(過去最多)
2022年度のいじめの認知件数	68万1948件(過去最多)

※ユニセフが2020年に公表した「子どもたちに影響する社会」より。他の数字は厚生労働省が公表したデータによる。

子ども達にとって、日本は生きやすい社会なんでしょうか？  
鳥取県ユニセフ協会は今年設立10周年を迎え、12月に子どもの人権や子どもの権利条約に関する講演会やワークショップを開催します。「子どもの幸せのために大人ができることは何か？」を考えてみませんか？

12月3日の設立10周年企画はどのような企画でしょうか？  
県内で子どもたちのSOSに現場で応えている皆さんのパネルディスカッションや大学生によるワークショップがあります。子どもたちへの新しい接し方、発見、気づきを感じてもらえると嬉しいです。

■12月3日の設立10周年企画はどのような企画でしょうか？  
県内で子どもたちのSOSに現場で応えている皆さんのパネルディスカッションや大学生によるワークショップがあります。子どもたちへの新しい接し方、発見、気づきを感じてもらえると嬉しいです。

鳥取県ユニセフ協会 事務局長・奥谷仁美さんにお聞きしました



12月3日子どもの権利条約についてのワークショップや講演会を予定されていますね。子どもの権利条約は生きる権利、意見を表す権利、表現の自由など大人と同じく子どもにも等しく権利を認めています。多くの方に「子どもには権利がある」ということを知って頂きたいです。

日本の子どもたちの精神的幸福度の低さや、児童虐待の増加など、子どもの心や生活状況の悪化が問題視されていますね。子どもたちが追い詰められている状況は大人が形作る社会環境の縮図でもあり、大人の生きづらさが、子どもの生きにくさに反映されているように思います。これは、私たち大人の問題でもあります。

私たちは大人は何ができるのでしょうか？  
まずは、自分の子ども、地域や身近に暮らす子どもと接していく機会を増やして、子どもたちと共にいい環境を作っていくことではないでしょうか。それは私たち大人にとってもいい環境になると思います。

12月3日の設立10周年企画はどのような企画でしょうか？  
県内で子どもたちのSOSに現場で応えている皆さんのパネルディスカッションや大学生によるワークショップがあります。子どもたちへの新しい接し方、発見、気づきを感じてもらえると嬉しいです。

## 被爆ピアノ 市民が熱演



被ばくピアノを演奏する市民

広島市の原爆投下で原爆で被災した被爆ピアノを弾く演奏会が開かれ、市民6名が熱演しました。「青い空は」を演奏した松浦由美子さんは「貴重な体験が出来て感激しています。平和を願い心をこめて弾きました。」と話されました。被爆ピアノを修繕し全国各地で演奏の機会を提供している広島市在住の調律師・矢川光則さんは、「今年は昨年よりと

## 26回目 平和のための戦争展



8月13日(日)、米子市文化ホールにて「平和のための戦争展」が開催されました。被爆ピアノ演奏会や写真・絵画パネル展示、紙芝居などが行われ、200名の市民が来場しました。

## 未来へつなぐ平和への願い

### 戦争の被害と加害を考える

会場には、高校生が描いた原爆の絵や日本兵が撮影した日中戦争当時の写真パネル、元戦犯が描いた中国侵略絵画が展示され、戦争の被害と加害の両面を学ぶ展示が行われました。

また、戦時中の遺品展示や千羽鶴をリサイクルするための選別作業(折り鶴昇華再生体験)は、だしのゲンの紙芝居、子ども向けクイズラリーなどの企画も催され、幅広い世代が核兵器や戦争について学びました。



写真展を見学する様子

市民からは「コンサートめっちゃくちゃ最高でした！」(10代)、「何度も来ています。」(60代)、「何があっても戦争はやってはいけないと思います。」(70代)などの声が寄せられました。



千羽鶴をリサイクルするために選別作業をする親子の様子

平和川柳入選作品: 52作品の応募があり、21作品が優秀賞に選ばれました。平和通信で4回にわたり優秀作品を紹介していきます。

これからも「はだしのゲン」を孫と読む  
平和って願うでなくて作るもの  
ホタル飛ぶ 平和を願う 友が飛ぶ  
二刀流 兵士と核なら いりません  
平和への バトンと繋げ 新時代

【鳥取県ユニセフ協会設立10周年企画】  
知ろう・学ぼう!子どもの権利条約 **入場無料**  
~子どもの幸せのために大人ができること~  
とき:2023年12月3日(日) **当日参加OK!**  
場所:ハワイアロハホール 集会室 **★11/30までにお申込みの方はプレゼントあり!**  
東伯郡湯梨浜町はわい長瀬 584 **託児は11/22までに要予約**

■10:30~12:00 「子どもの権利条約」ワークショップ  
大学生と一緒に、子どもの権利について学ぼう!

■13:00~14:10 基調講演「人間として子どもへの愛情と尊重」  
~子どもを人間として理解し、愛し、信じることは  
どうしたことなのか~  
講師:塚本智宏さん  
(札幌国際大学教授/日本ヤヌシュ・コルチャック協会理事)

■14:15~15:20 パネルディスカッション  
「子どもの声を聴くってどういうこと?」  
・鳥取県子ども家庭部家庭支援課 児童養護・DV 室長 西村耕一さん  
・不登校児童生徒、引きこもり青少年の親の会 「つながろう会」 事務局 渡邊奈津美さん  
・チャイルドラインつさぎのみみ 代表 楠本知恵美さん  
・特定非営利活動法人こども未来ネットワーク 理事長 渡部万理子さん  
・子どもの人権広場 ちいさいおうち 管理人 水田美世さん  
・鳥取県生協ユニセフ協会 スタッフ

お問合せ 鳥取県ユニセフ協会  
TEL/FAX 0858-71-0970  
(月・火・金)10~16時 (水)10~12時  
unicef-tottori@juno.ocn.ne.jp